

宮古小学校 ネット授業(宮小スイエんサー)

日時： 2014年2月14日

場所： お茶の水女子大学と宮古市立宮古小学校

参加者： 全校児童対象

内容： ゆでると変化するワカメの色, チョコでとけるガム

講師： 露久保 美夏 (お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師)

実施方法：

児童が日常の中で疑問に思っていることに対して実験を交えながら楽しくわかりやすく答えることを目的とし、昼休みの15分間を利用して全校児童対象に実施した。事前に募集した質問の中から回答するものを選び、テレビ電話機能を利用して大学と小学校をつないで実験を通して回答と解説を行った。

実施結果：

多くの質問が寄せられた中から、旬の食材であり宮古の特産品でもあるワカメに関する「ワカメをゆでるとなぜ茶色から緑色に変わるのか？」という質問に対する回答を行った。生の茶色いワカメを湯に通すと緑色に変わることをその場で見せ、色素が熱で変化することを解説した。また、実施日がバレンタインデーだったため、チョコに関する実験も実施した。チョコとガムを同時に食べるとガムが溶けるという現象に児童たちは驚きと喜びの表情であった。日常における素朴な疑問に答える事は学年を問わず楽しんで参加出来るものであり、科学的興味を感化させることができたと思われる。この様子は岩手日報（宮古小学校側で取材）に掲載された。

